

第 47 回内閣府独立行政法人評価等のための有識者懇談会議事要旨

大臣官房政策評価広報課

1. 日 時：令和 8 年 7 月 2 9 日（水）14：00～14：59

2. 場 所：オンライン開催

3. 出席委員：牧原座長、梅澤委員、田辺委員、山内委員

4. 議事概要

（１）（独）国立公文書館の令和 7 年度における年度評価案について

公文書管理課より、資料 1－1 を中心に説明がなされた後、委員からの主な意見等は以下のとおり。（委員からの修正意見なし）

- ・ 困難度が高い項目の場合、もともと目標値を高く設定し過ぎないほうがよいのではないか。
- ・ 財務内容に関して自己収入が有償頒布で 727 万円あったとのことだが、コストはどの程度あったのか。赤字になっていないかなどは確認したほうがよいのではないか。
- ・ デジタル展示のページビューに関して、目標未達であったが、今回未達だったということで何か学びや気づきがあれば教えていただきたい。
- ・ 展示会入場者数が大幅に増加しており、この実績を基に来年度の目標を立てると大変なのではないかと思うが、何か分析はされているか。

（２）（独）北方領土問題対策協会の令和 7 年度における年度評価案について

北方対策本部より、資料 2－1 を中心に説明がなされた後、委員からの主な意見等は以下のとおり。（委員からの修正意見なし）

- ・ 引き続き、元島民等の方々に寄り添っていただきたい。その点からみると、洋上慰霊の取組や、洋上慰霊において元島民等と後継者との交流会の開催に加え、船内での宿泊を伴う日程を設けたのは参加者相互の交流を深める上で非常にいい取組だと思う。
- ・ 北方領土学習教材集のダウンロード数が 5 万件ほどとのことだが、ダウンロードされているカテゴリーや用途を教えていただきたい。
- ・ 国民世論の啓発について、全体としての成果を測定するため、認知度や一般の方の意見を何らかの形で把握することもあり得ると思うが、そのような全体の成果指標のようなものは考えているのか。
- ・ 調査研究結果の引用・利活用の件数について、引用件数より利活用件数の方をより重視したほうがよいのではないか。

(3) 事務局から、今後の予定について説明を行った。

(以 上)

(問合せ先)

内閣府大臣官房政策評価広報課 独立行政法人担当

電話：03-6257-1295